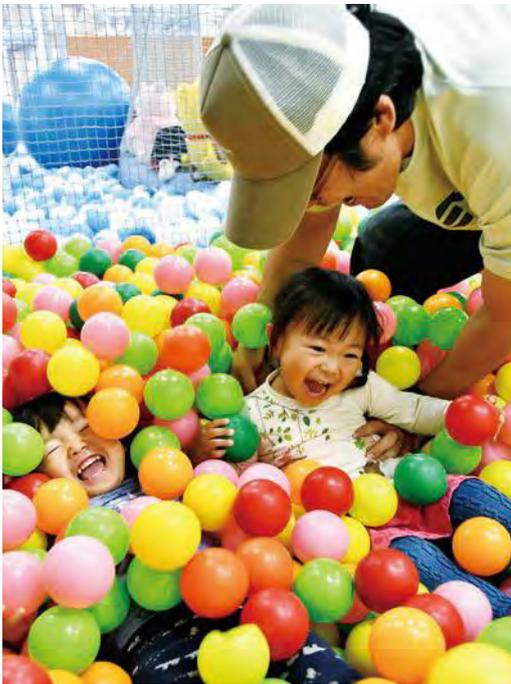




子育て
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



共働き子育てしやすい街 ランキング 2018

全国1位

子育てするなら

宇都宮

実は、宇都宮は「子育て」で全国に名を馳せていることをご存じですか。

忙しいパパママを応援したい。そして、子どもたちに元気に大きく育ててほしい。そんな思いが結実した宇都宮の「子育て支援」を紹介します。

もっと深く

広報 **うつのみや+**

宇都宮情報



テーマに対するご意見を
アイデア通信(7ページ)
でお寄せください。

ココがスゴイ!

ココがスゴイ!
3

出産直後のママの 心と体をサポート! 産後ケア・産後サポート

平成29年10月
スタート

産後2週間と産後1カ月の全ての産婦を対象に産婦健診の費用(1回につき最大5,000円)を助成します。

さらに、産後うつ等の疑いがあり、支援が必要なママには、**産後ケア**や**産後サポート**を実施しています。

産後ケアって?

医療機関への宿泊や通所により休養の時間を確保し、心身の回復を図ったり、助産師の自宅訪問により授乳指導などを行ったりしています。

産後サポートって?

助産師などが自宅を訪問し、育児の不安などを聴いたり、寄り添い支援を行ったりしています。

母乳のケアを受けたり、心配事の相談ができたので、安心して子育てできるようになりました。

2歳

1歳

0歳

産前



初回治療費の助成額
中核市1位

ココがスゴイ!
4

子育てエキスパートが プロの目線でアドバイス! 宮っこ子育てコンサル

宇都宮市
オリジナル

市内の子育てサロン7カ所に、経験や専門性を持つ「**宮っこ子育てコンサル**」を配置しています。

幼稚園、保育所、認定こども園や、一時預かりなどの子育て支援事業の中から、最適なものを選びスムーズに利用できるような、相談に乗ったり情報提供をしたりしています。

私たちが
お聞きします!



困りごとは
ぜひご相談
ください。

宮っこ子育てコンサル
子育てサロン中央
ちゆき
荒井 千幸

ココがスゴイ!
2

出産前後に経済的なサポート! 妊産婦医療費助成

ママが病気やけがなどで治療を受けた場合の負担額を助成しています。

宇都宮市
オリジナル

\\ スゴイPOINT! /

助成期間を **1カ月延長** し、妊娠期から出産した翌々月までの負担分を助成します。

※対象は、健康保険が適用になる医療費です。

助成期間の長さ
日本1位

政2

子どもが減る時代
子育てが難しい時代

少子・超高齢、人口減少社会が到来している現代。本市の人口もこれまでは増加傾向でしたが、昨年の約52万人をピークに、今後は減少していくと考えられています。

また、全国的に見ても、核家族化の進行や、地域との関わりが薄くなる一方、女性が活躍し共働き
の家庭が増加し、育児の不安や負担が大きくなっています。

子育て家庭を取り巻く環境は厳しくなり、これまで以上に、適切なサポートが必要な時代になっているといえます。

全国に誇る
子育てしやすい街 宇都宮

そのような中、宇都宮市は、「子育てしやすい街」として注目を集めていることをご存じでしょうか。これまでも民間の調査で、5年連続「住みよさ全国1位(※1)」を獲得するなど、暮らしの良さに定評のあった宇都宮。平成30年には「共働き子育てしやすい街ランキング全国1位(※2)」に輝き、「働きながら子育てをするなら宇都宮」という声が徐々に全国に広まり始め

※1 出典 東洋経済別冊「都市データパック2013年版」～「都市データパック2017年版」。人口50万人以上の28都市より。

※2 出典 「自治体の子育て支援制度に関する調査」(日経DUAL×日本経済新聞社)。

祝 共働き子育てしや 宇都宮の子育て

7 **中学生まで医療費無料!**
こども医療費助成

15歳到達の年度末(中学生)までのお子さんが、病気やけがで治療を受けた場合の医療費を助成しています。

＼スゴイPOINT!／
中学生までのお子さん全員が**窓口負担0円**で治療を受けられます。
※対象は、健康保険が適用になる医療費です。

宇都宮市
オリジナル

5 **保育園に
入しやすいまち**

本市は、4月1日時点の待機児童ゼロを2年連続(平成29・30年度)で達成中です。

さらに!
保育料を独自に軽減! 第3子以降は保育料が無料!
国の基準額に対し、約40%軽減した、独自の保育料を設定しています。また、第3子以降は保育料が**無料**。多子世帯の負担を軽減しています。



「ココがスゴイ!」の詳しい内容や**小学校以降**のことはこちらをチェック!



▲宮っ子育て応援ナビ



6歳～

5歳

4歳

3歳

買い物などちょっとした休息にもOKとのことで利用しました。育児中にほっと一息つけました。

ママ's VOICE



3政

8 **リフレッシュや気分転換にも!**
**ファミリーサポートセンター
一時預かり事業**

■ファミリーサポートセンター 子育てを援助したい人(協力会員)と援助を受けたい人(依頼会員)がお互いに助け合う、地域で子育てを援助していくための会員組織です(要事前登録・有料)。

■一時預かり保育(ゆうあいひろば) 生後6カ月から小学校就学前までのお子さんをお預かりします(要予約・有料)。

さらに!
多子世帯を応援します!
第3子以降のファミリーサポートセンターと一時預かり事業の利用料を全額補助しています。
※ファミリーサポートセンターは子ども一人当たり月64時間まで。

宇都宮市
オリジナル



6 **お子さんが病気の時でも安心!**
病児保育

お子さんが病気で保育園や小学校へ登園・登校ができず、パパママが仕事などで育児ができない場合に、昼間の間、専用施設でお預かりします(要予約・有料)。

さらに!
病児保育送迎対応(お迎えサービス)
保育園などで体調不良となったお子さんを、保護者の代わりに迎えに行き、病児保育でお預かりします(要事前登録・有料)。

まだまだ充実のサポートがこんなに!

未就園児のみんな
集まれ!

子育てサロン

初めて親になる
不安を解消!

ママパパ学級

仕事で忙しいとき
にも安心!

延長保育促進事業

赤ちゃんの健康や子育てのアドバイス!
生後4カ月までの赤ちゃんのいる家庭を訪問

乳児家庭全戸訪問

充実した保育園
生活のために!

保育士確保策を
推進

安心して出産が
迎えられるように!

妊婦健康診査・
妊産婦歯科健康診査

子どもの発達について
心配なときは!

子ども発達相談室

参考) 宇都宮が「子育てしやすい」と言われている理由の一つは、切れ目のないサポートの手厚さ。子どもが生まれる前、生後すぐ、保育園入園、病気にかかったもの、時に加え、急用やリフレッシュしたい時など、パパママも子どもも困ることの多いタイミングで子育ての手助けとなれるよう、数多くの事業を展開しています(上の図参照)。

切れない支援で
子育てをサポート
しています。

子育てママの座談会



宇都宮って
どうですか？

実際に子育てをするママたちはどう思っているのでしょうか。市外や県外から移住してきたママたちに集ってもらい、宇都宮の印象を聞いてみました。

政4

「皆さん、よく遊びに行く施設はありますか。」
黒木 私は、南図書館が好きです。子どもを遊ばせるスペースもあるし、イベントもたくさんやっていますよね。

それから、うつのみや表参道スクエアにある「ゆうあいひろば」にも行きました。これから子どもが大きくなってきて、ますます遊べるようになってくるのが楽しみです。

浅野 私は近所の東図書館。特におはなし会がお気に入りです。他のママと話す時間を設けてくれて、イベントを通じて友達ができたのもうれしかったですね。

山田 私はこの子育てサロン（中央）ですね。以前住んでいた横浜は、場所の開放がメインで、イベントなどはあまり無かったです。こちらでは、毎日おたのしみタイムというイベントがあって、お話を聞いたり劇を見たりして楽しいです。



黒木 久美子さん

3年前にご主人の転勤のために宇都宮へ。職場復帰後は東京へ通勤します。



塩野 直子さん

長野や新潟に住んだ後、茨城から転居して宇都宮へ。現在は専業主婦。

す。

家で赤ちゃん二人って、出産前は平気だろうと思っていましたが、実際にはどう過ごすか戸惑ってしまっています。でも、子育てサロンで教えてもらった遊びをするようになって、子どもも喜んでくれます。

小森 家でも実践していることといえば、私の場合は「青少年活動センター」の講座で教えてもらったスキップをお風呂上がりにもやっていますよ。

「街の印象はどうですか。」

塩野 公園が充実していますよね。徒歩圏内にもいくつも公園があって、今日はどこに行こうと迷っちゃうくらい。芝生もきれいで、遊具も整備されていて、子どもを遊ばせやすいですね。

黒木 お祭りやイベントが豊富なのもいいですね。最近では、「宮っこフェスタ」とか「MYA JAZZ FESTA」に出掛けました。休日には



小森 尚美さん

日光市出身。ご自身は職場に復帰し、お子さんは保育園へ通っています。

家族で街なかに出掛けることが多いですね。交通面でもバスが便利でいいと思います。

行政のサポートの面などはどうですか。

塩野 妹も茨城で子育てをしているんですが、医療費が無料というのは、びっくりされましたし、うらやましがられました。

浅野 埼玉で里帰り出産をして、その時に、産後うつ検査を受けたんですが、埼玉は1回なのに、宇都宮は2回受診できるんですよ。手厚いサポートで、ありがたかったですね。

小森さん、皆さんの中では唯一、保育園にお子さんを預けていらっしゃるんですね。

小森 そうです。だから、今日は寂しいですね(笑)。パパがお迎えに行ってくれています。

私が一番印象的だったのは、その保育園の入園について。年度の途中で難しいかなと思っていたん



浅野 彩翔さん

埼玉から移住し、今年で宇都宮生活は5年目。5月から職場に復帰します。

ですが、無事に入園できたんです。運が良かった部分もあると思いますけれど、「保育園に入りやすい」とていわれているのを実感できました。

ただ、うちは子どもが保育園に入ってから、突発性発疹、RSウイルスと病気になってしまつて。私の場合は、実家の両親に面倒を見てもらえましたが、頼れる人が近くにいないパパママは大変だと思います。

浅野 私も5月には仕事に復帰するんです。私たち夫婦の両親は遠方にいるので、いざという時のために「病児保育」は登録しておきたいなと思っています。

黒木 私は「ファミリーサポートセンター」の登録を考えています。

今後、さらに宇都宮に望むことはありますか。

黒木 宇都宮はバスが便利でよく使うのですが、ICカードが使えるのもっといいのと思っています。



山田 恵さん

今年7月に横浜から移住してきたばかり。それ以前の住まいは福岡、千葉など。

小森 パパを育てる施設があるといいなあ。「子育て寺」みたいなのに1カ月くらい入って、セミプロになって帰ってきてくれたら、ケンカも減って、さらに子育てしやすいと思います(笑)。

最後に改めて宇都宮の印象について何かありますか。

山田 私が一番感じているのは人の温かさです。横浜と比べると、皆さん、とにかくよく声を掛けてくれます。スーパールのレジを待つ間や、エレベーターの中でも話しかけてくれて。地域の皆さんが温かくて優しいなって感じます。そんなところも子育てしやすい街だなあと思うところですね。

塩野 ホント、宇都宮はいいところで、また転勤でいつか引っ越すと思うと残念です。ずっと住み続けたいです。

ありがとうございます。今日は、皆さんありがとうございました。今日は、一同 ありがとうございます。

ママたちオススメの遊び場



青少年活動センター / あそぼの家

役立つ講座の他、隣接する「あそぼの家」で元気いっぱい遊べます。
 青少年活動センター ☎(663)3155



ゆうあいひろば

大型遊具をはじめ、いろいろな遊びや楽しいイベントがいっぱいです。
 ゆうあいひろば ☎(616)1570



南図書館

授乳室や子ども用トイレも完備し、安心して楽しめます。
 南図書館 ☎(653)7609



座談会を実施したのは、普段から皆さんが通う子育てサロン中央(ララスクエア宇都宮9階)。和やかな雰囲気の中、話は盛り上がりしました。

自然豊かな52万人都市 子どもの体験を大切に



作新学院大学女子短期大学部教授 青木 章彦さん

幼児教育学科長。市子ども・子育て会議会長、市環境審議会委員、県社会教育委員（議長）、県文化財保護審議会会長など。高校生ユースボランティア研修会、防災キャンプなどの講師として、青少年に寄り添った指導を行う。

激変する 子どもを取り巻く環境

「まず、現在の子育てを取り巻く社会環境をどのように考えますか。」

子育てに関する環境は、私たちが子どもの頃と比べて、ずいぶん変化しています。

少子高齢化の進行をはじめ、共働き世帯の増加による親の長時間労働、核家族化による家族形態の変化、地域の協働関係の希薄化といったことが挙げられます。また、スマートフォンが急速に普及したこと、自然や地域との触れ合いといった、子どもたちの直接体験が減っていると感じています。

これらの要因に対し、いかに対応していくかが重要です。

「そんな状況に対し、われわれはどのようなことを意識していく必要があるのでしょうか。」

子育て中の人だけでなく、私たちが社会の一員として、子どもを育てていかなければなりません。

行政に求めたいのは次の一手。宇都宮市は4月の待機児童もゼロであり、子育て支援施策は豊富という充実した環境だからこそ、今後は、さらに時代のニーズに合った支援の強化や、保育環境の質の

政6

向上を望みたいですね。

また企業には、子育てに直接関わるお父さんやお母さんが、子どもと過ごす時間を確保できるように、従業員の「ワーク・ライフ・バランス（※1）」に意識を向けていただきたいです。

そして、地域全体で子どもを見守り、支え合う地域づくりを推進していかなければなりません。

全国でも稀な 都市と自然のバランス

「子育てをする上で宇都宮市はどのような街でしょうか。」

私たちは、今ある環境を当たり前と思うかもしれませんが、実は私たちの住む宇都宮市は、子育てするのにとても優しい街だと思います。

特に私が注目しているのは、公園の充実ぶりです。数の多さはもちろん、広くて自由に活用しやすい公園が豊富（※2）ですよね。例えば、街なかには八幡山公園や、うつのみや文化の森がありますし、ちよっと離れたら、みずほの自然の森公園や森林公園などがあります。これだけ街なかに自然が入り込んでいる人口50万人以上の都市はそう無いと思います。

自然体験にもバッチリ/ 青木先生イチオシの公園



八幡山公園(靖田5丁目)

大型の遊具施設やゴーカートなど、言わずと知れた宮っこの遊び場。春には桜の名所となります。

📍八幡山公園管理事務所 ☎(624) 0642



長岡公園(長岡町)

長岡樹林地に隣接する公園。季節感あふれる自然との触れ合いや軽いスポーツを含むレクリエーションに利用できます。

📍公園管理課 ☎(632) 2529



うつのみや文化の森(長岡町)

宇都宮美術館に隣接した緑豊かな26haの丘陵地の公園。体験型学習や自然観察会なども開かれています。

📍宇都宮美術館 ☎(643) 0100

※1 ワーク・ライフ・バランス やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方、仕事と生活の調和。

※2 中核市48市中2位（出典 中核市市長会「平成29年度都市要覧」都市公園数）。

いくつかの公園には博物館、美術館が隣接するなど、施設の集約が上手になされています。公園以外の要素を交えながら、人の集まる場所ができ、そこには各種ボランティアなど、豊かな人材が集うといった、恵まれた環境にあります。そこでの人との交流が、子育てにも影響してきます。

外に出て体験をして子どもたちは成長する

先生自身が直接、子どもたちに触れ合う中で、大切にしていることは何でしょうか。

これまでお話したように、子育てする上で宇都宮市は「環境」や「人」に恵まれています。しかし、それらを活用しなければ意味がありません。

私が子育てで重要だと考えているのは「直接体験」です。体験を通じて、子どもたちは五感を刺激し、周りの人たちに共感を与え、経験したことを実感するなど、多くのことを学びます。地域での体験活動として、公園の草取りも立派な経験ですし、そこからは多くの発見があります。何より、「直接体験」は「自信」につながります。そこから好奇心を育て、学習する

意欲を高め、ひいては「生きる力」につながります。まずは外に出て、自然に触れましょう。

また、宇都宮市は他の都市と比べて、地域行事が大変盛んだと思います。地域の伝統行事や地区行事、子ども会のお祭りなども、立派な体験活動です。「直接体験」を通して生まれる、人との交流が子どもを大きく成長させるのです。

子どもの元気は大人の元気 大人の元気は地域の元気

最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

私は、子どもたちにはいろいろなことに興味を持つ人になってほしいと思っています。

子どもの成長は、本人とその家族だけの問題ではありません。ま



7 政

アイデア通信

宇都宮市の子育てについて私はこう考えます

1 あなたが「宇都宮市は子育てしやすい」と感じるのはどんなことですか？
(例：医療費が無料なので、安心して子どもを病院に連れていけること。)

2 今以上に宇都宮市を子育てしやすいまちにするには、何が必要だと思いますか？
(例：予防接種の時期などを知らせてくれる子育てアプリがあると便利。)

してや親世代は共働き、祖父母とは同居していないといったケースが多くなっています。地域の大人たちや社会の力が大きく影響するのです。

たとえば、子育てをしていない皆さんでも、地域の行事に参加してみよう。その積み重ねでお祭りが盛り上がる。そのような小さな積み重ねで、地域のつながりが回復し、さらに子育てしやすい街へと変わっていきます。

子どもの元気は大人の元気、大人の元気は地域の元気。周りの子どもたちに目を向けて、あなたがい地域づくりをしていきましょう。

あなたの意見をお寄せください

市民の皆さんから、「子育てするなら宇都宮」についての意見・提案をお受けします。寄せられた意見・提案などは、施策の参考とします。なお、一部を後日、広報紙で紹介いたします。質問などへの回答は、直接本人あてに返信しませんので、ご了承ください。

左のはがき(切手不要)を切り取り、1月15日(火)までにポストに投函してください。他のはがきや手紙・ファクス・Eメール・市ホームページのアンケート(携帯サイト含む)でも受け付けます。

送付先
〒320-8540 市役所総合政策部広報広聴課
☎(632) 2025、FAX(639) 0627
Eメール: u2030@city.utsunomiya.tochigi.jp

広報うつつのみやプラス「子育てするなら宇都宮」についての問い合わせ先
子ども部子ども未来課
☎(632) 2342、FAX(638) 8941
Eメール: u1806@city.utsunomiya.tochigi.jp



▲アンケートフォーム
※一部の機種で表示されない場合があります。